

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月6日

上場会社名 曾田香料株式会社
 コード番号 4965 URL <http://www.soda.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中地 俊朗
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長 (氏名) 中島 直文
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月11日 配当支払開始予定日 平成20年12月10日

上場取引所 JQ

TEL 03-5645-7340

平成20年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	10,185	—	1,489	—	1,503	—	911	—
20年3月期第2四半期	9,289	△2.6	1,159	20.6	1,159	18.4	712	9.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	91.17	—
20年3月期第2四半期	71.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第2四半期	19,049		11,416		59.9		1,142.04	
20年3月期	18,153		10,642		58.6		1,064.49	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 11,416百万円 20年3月期 10,642百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	8.0	2,500	4.5	2,510	3.7	1,550	3.5	155.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 10,000,000株 20年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 3,508株 20年3月期 2,710株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 9,996,948株 20年3月期第2四半期 9,997,290株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年8月6日発表の業績予想は修正していません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰が企業収益や家計を圧迫するなか、米国発の金融危機により世界経済が急速に悪化し、国内景気の減速感が一層強まり、本格的な景気後退局面に入る兆しを見せております。

香料業界におきましても、食品の値上げの影響等により、国内市場の売上は伸び悩んでおり、販売競争が激化するなかで原燃料価格の上昇も加わり、厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループはフレグランス、フレーバー、合成香料・ケミカルの3事業部門ごとに持続的な収益拡大に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化し、自社製品の売上高増加に注力いたしました。そして、生産性の向上や総費用の見直しなどの各種施策にも積極的に取り組み、事業収益の向上と経営の効率化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高のうち自社製品につきましては、フレグランス、フレーバーが好調に推移し、合成香料・ケミカルも大幅に拡大したことから、前年同期比12.1%増加して7,967百万円となりました。仕入れ商品も含めた全体の売上高は、10,185百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

利益につきましては、自社製品の拡販を積極的に進めたことや、原燃料価格が上昇する中で製造原価低減、経費の抑制に努めたことから収益性が向上し、営業利益は1,489百万円(同28.4%増)、経常利益は1,503百万円(同29.7%増)、四半期純利益も911百万円(同28.0%増)となり、第2四半期連結累計期間の各利益は5期連続で過去最高益を更新しました。

部門別の自社製品売上高につきましては、フレグランス部門は、主力のシャンプー・リンス等の頭髮用化粧品香料は伸び悩みましたが、消臭・芳香剤用香料が大幅に伸長したことから、製品売上高は800百万円(同6.2%増)となりました。フレーバー部門は、コーヒー、機能性飲料等の飲料用香料が拡大し、製品売上高は2,870百万円(同7.9%増)となりました。合成香料・ケミカル部門は、電子材料用ケミカル製品が大幅に拡大したことから、製品売上高は4,296百万円(同16.4%増)となりました。

なお、前年同四半期増減率は参考として記載しております。

(注記) 当社グループは、単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメント情報はありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期末の資産の残高は19,049百万円となり、前連結会計年度末と比較して895百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金の増加440百万円、たな卸資産の増加712百万円、現金及び預金の減少175百万円などによるものです。

(負債)

当第2四半期末の負債の残高は7,632百万円となり、前連結会計年度末と比較して121百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金の増加773百万円及び短期借入金の減少500百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期末の純資産の残高は11,416百万円となり、前連結会計年度末と比較して774百万円増加しました。これは主に、配当金の支払い99百万円と四半期純利益の計上911百万円の結果利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の58.6%から59.9%に上昇いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ175百万円減少し、2,774百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは425百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は838百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が1,488百万円、減価償却費が319百万円となり、また売上高の増加により売上債権が440百万円の増加、たな卸資産が712百万円の増加、仕入債務が773百万円の増加となったこと及び法人税等の支払額が586百万円となったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は412百万円となりました。これは主に、製造設備等の有形固定資産の取得による支出392百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は600百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済500百万円と配当金の支払い99百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の今後の見通しにつきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、現段階では平成20年8月6日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ15,376千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,774,500	2,949,677
受取手形及び売掛金	4,133,879	3,692,891
商品	88,010	47,383
製品	1,661,394	1,622,777
原材料	1,331,880	1,147,773
仕掛品	2,106,075	1,654,274
その他	463,491	450,215
貸倒引当金	△5,276	△5,560
流動資産合計	12,553,955	11,559,433
固定資産		
有形固定資産	4,788,689	4,865,977
無形固定資産	40,993	38,756
投資その他の資産	1,665,489	1,689,573
固定資産合計	6,495,172	6,594,308
資産合計	19,049,128	18,153,741
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,836,958	2,063,632
短期借入金	1,000,000	1,500,000
未払法人税等	588,862	611,700
賞与引当金	478,126	453,892
役員賞与引当金	7,601	14,216
その他	657,905	814,602
流動負債合計	5,569,454	5,458,043
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付引当金	1,823,320	1,830,197
役員退職慰労引当金	138,543	122,030
その他	1,448	1,448
固定負債合計	2,063,312	2,053,676
負債合計	7,632,766	7,511,720

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	8,363,122	7,551,700
自己株式	△2,361	△1,523
株主資本合計	11,307,616	10,497,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	142,429	155,224
繰延ヘッジ損益	3,442	29,975
為替換算調整勘定	△37,125	△40,210
評価・換算差額等合計	108,745	144,989
純資産合計	11,416,361	10,642,021
負債純資産合計	19,049,128	18,153,741

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	10,185,135
売上原価	6,725,545
売上総利益	3,459,590
販売費及び一般管理費	1,970,546
営業利益	1,489,043
営業外収益	
受取利息	5,203
受取配当金	7,760
持分法による投資利益	8,212
その他	7,464
営業外収益合計	28,640
営業外費用	
支払利息	6,235
債権売却損	5,145
その他	2,589
営業外費用合計	13,971
経常利益	1,503,713
特別利益	
貸倒引当金戻入額	284
特別利益合計	284
特別損失	
固定資産除却損	3,255
和解金	12,000
特別損失合計	15,255
税金等調整前四半期純利益	1,488,742
法人税等	577,347
四半期純利益	911,394

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,488,742
減価償却費	319,518
固定資産除却損	2,174
持分法による投資損益(△は益)	△8,212
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△284
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,233
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,615
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,635
受取利息及び受取配当金	△12,963
支払利息	6,235
和解金	12,000
売上債権の増減額(△は増加)	△440,987
たな卸資産の増減額(△は増加)	△712,831
仕入債務の増減額(△は減少)	773,326
その他	△48,265
小計	1,405,706
利息及び配当金の受取額	30,679
利息の支払額	△6,244
和解金の支払額	△6,000
法人税等の支払額	△586,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	838,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△7,201
有形固定資産の取得による支出	△392,369
無形固定資産の取得による支出	△13,581
その他	207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△412,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000
自己株式の取得による支出	△837
配当金の支払額	△99,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△600,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	406
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,177
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,774,500

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,098,335	1,053,628	309,886	121,059	2,582,910
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	10,185,135
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.8	10.4	3.0	1.2	25.4

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州……スイス、英国、フランス
- (3) 北米……米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		9,289,998	100.0
II 売上原価		6,245,722	67.2
売上総利益		3,044,276	32.8
III 販売費及び一般管理費			
1. 荷造運送費	128,241		
2. 役員報酬	75,841		
3. 給料手当	583,618		
4. 賞与引当金繰入額	266,692		
5. 役員賞与引当金繰入額	7,108		
6. 退職給付費用	82,240		
7. 役員退職慰労引当金繰入額	14,253		
8. 福利厚生費	162,395		
9. 賃借料	139,820		
10. その他	424,455	1,884,666	20.3
営業利益		1,159,609	12.5
IV 営業外収益			
1. 受取利息	2,931		
2. 受取配当金	9,636		
3. 持分法による投資利益	6,504		
4. その他	9,272	28,346	0.3
V 営業外費用			
1. 支払利息	9,325		
2. 債権譲渡損	4,133		
3. たな卸資産処分損	11,383		
4. その他	3,294	28,136	0.3
経常利益		1,159,818	12.5
VI 特別損失			
1. 固定資産除却損	5,659	5,659	0.1
税金等調整前中間純利益		1,154,159	12.4
法人税、住民税及び事業税	425,562		
法人税等調整額	16,426	441,989	4.7
中間純利益		712,170	7.7

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	1,154,159
減価償却費	354,237
固定資産除却損	4,534
持分法投資利益	△6,504
貸倒引当金の増加額	437
賞与引当金の増加額	42,314
役員賞与引当金の減少額	△6,823
退職給付引当金の減少額	△78,688
受取利息及び受取配当金	△12,568
支払利息	9,325
売上債権の増加額	△351,661
たな卸資産の増加額	△282,446
その他流動資産の増加額	△25,711
仕入債務の増加額	370,895
その他流動負債の減少額	△38,251
小計	1,133,248
利息及び配当金の受取額	31,494
利息の支払額	△9,116
法人税等の支払額	△367,872
営業活動によるキャッシュ・ フロー	787,754

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
II 投資活動による キャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による 支出	△7,068
有形固定資産の取得による 支出	△276,134
無形固定資産の取得による 支出	△100
その他	△41,620
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△324,922
III 財務活動による キャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△600,000
配当金の支払額	△59,835
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△659,835
IV 現金及び現金同等物に係る換 算差額	△382
V 現金及び現金同等物の減少額	△197,386
VI 現金及び現金同等物の期首残 高	2,391,519
VII 現金及び現金同等物の中間期 末残高	2,194,132

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

当社グループは単一セグメントに属する香料の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,201,127	783,715	418,654	110,821	2,514,319
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	9,289,998
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.9	8.5	4.5	1.2	27.1

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州……スイス、英国、フランス
- (3) 北米……米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。